



## 「女性の声を地域防災へ」

### ～市民参加で『防災ノート（仮称）』を作成～

豊岡市（地域づくり課、危機管理課、多様性推進・ジェンダーギャップ対策課の3課）は、地域防災にジェンダー視点を取り入れる取組みを開始する。

地域コミュニティ、消防団、防災士、保健師などの女性によるワークショップを開催し、防災減災に向けた女性の視点の避難行動、女性が命を守るための気づきを反映した「防災ノート（仮称。以下同じ）」を作成する。

防災ノートは、地域コミュニティ組織や自治会の活動、市の出前講座などで活用し、ジェンダー視点の醸成とともに地域の防災力の向上につなげる。



生成 AI により生成

## 1 事業の目的

近年、全国各地で大規模災害が頻発する中、性別や年齢などによって必要な支援は異なり、国の防災基本計画でも男女共同参画の視点を取り入れた防災対策が求められている。また、本市においても平成16年台風23号の教訓から、避難行動や避難所運営における生活環境・プライバシーの確保など、多様な課題が浮き彫りとなっている。

このため、本事業では、これらの教訓や多様なニーズを踏まえ、女性や高齢者、乳幼児連れの家族など多様な視点を取り入れた、誰もが安心して避難できる地域づくりを目指す。あわせて、防災活動に参画する女性人材の育成や地域内のネットワーク形成を推進し、地域防災力の向上を図ることを目的とする。

## 2 事業の特徴

### (1) 女性の声を基に防災ノートを作成

地域コミュニティ組織（19人）、防災士（2人）、消防団員（2人）、社会福祉協議会職員（2人）、保健師（1人）、栄養士（1人）、保育士（1人）の女性で構築するワークショップを開催する。地域の実情を踏まえた意見、各分野の専門的な知見を集約し、防災ノートの作成につなげる。

## (2) 市民参加による編集プロセス

ワークショップ参加者の中から編集委員を募集し、防災ノートづくりに参画いただく。

編集委員は、市内在住のデザイナーとともに3回の編集会議を行い、女性視点の防災を市民に広く浸透させるための掲載内容、構成、デザインなどを検討する。また、監修者である萩原<sup>はぎわら</sup>なつ子<sup>こ</sup>氏から助言を受けながら作成を進める。

## (3) 継続的な人材育成

防災ノート作成後も、防災減災活動や地域活動への参加を呼びかけ、防災分野で活躍する女性人材の育成につなげる。

## 3 女性の視点で考える地域防災ワークショップ

- ・日時 2026年7月5日（日） 午後1時30分～3時30分
- ・場所 豊岡市役所本庁舎2階大会議室
- ・講師 萩原なつ子氏（立教大学名誉教授）
- ・内容 講義およびワークショップ
- ・参加者 地域コミュニティ組織、防災士、消防団員、保健師、栄養士、保育士および社会福祉協議会職員（いずれも女性）

## 4 今後のスケジュール

- ・7月5日 地域防災ワークショップ
- ・7月下旬 編集会議（第1回）
- ・9月 編集会議（第2回）
- ・10月 編集会議（第3回）
- ・2027年1月 完成・活用開始

〔問合せ〕豊岡市 暮らし創造部 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課  
TEL 0796-21-9004（直通）担当 大森（内線 2097）